

回発生し、うち爆発的噴火もそれぞれ4回、14回発生した。これらのうち、弾道を描いて飛散する噴石が最大で5合目(昭和火口からの水平距離で500mから800m)まで達したが、火砕流の発生はなかった。このほかごく小規模な噴火も時々発生した。6月14日以降は、28日に爆発的噴火が1回発生するにとどまった。

夜間には、5月2日から7日及び6月3日から5日にかけて、高感度カメラで捉えられる程度の火映が、昭和火口で観測された。

南岳山頂火口では、5月20日に爆発的噴火が1回発生した。

島内のDOAS(紫外線差分吸収分光計)を用いたトラスバース法による火山ガス観測では、二酸化硫黄放出量は、5月2日の観測で一日あたり1,300~2,300トンであったが、5月26日、6月6日の観測では一日あたり400~900トンとやや減少した。

火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過している。

国土地理院のGPS連続観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入による膨張が続いている。また、傾斜観測では、3月中旬から山頂方向が上昇していると考えられるわずかな変化が継続している。

#### 薩摩硫黄島 (30°47'35"N, 130°18'19"E (硫黄岳))

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は依然としてやや活発な状態が続いており、噴煙高度の最高は火口縁上500mであった。

火山性地震はやや多い状態が続いている。発生した地震の多くがB型地震で、A型地震も時々発生した。いずれも震源は硫黄岳山頂火口直下と推定される。また、振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が時々観測された。

#### 諏訪之瀬島 (29°38'18"N, 129°42'50"E (御岳))

6月17日に爆発的噴火が発生し、23日及び27日には小規模な噴火が発生した。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

(お知らせ)最新の火山活動解説資料は気象庁ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL [http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.htm](http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm)

(文責: 気象庁地震火山部火山課 道端秀和)

## ○教員公募

### 【立正大学地球環境科学部】

1). 所属: 地球環境科学部環境システム学科

2). 分野・資格: 環境地学

固体地球表層の環境科学に関する十分な研究業績があって、博士の学位を有し、岩石、地質、土壌、第四紀等のうち複数の分野を含む地学関係の学部教育および大学院学生の指導(いずれもフィールドワークを含む)を熱意をもって行い、地球環境に関する共同研究にも積極的な者。

3). 職階: 教授または准教授

4). 採用予定日: 2009年4月1日

5). 提出書類: (いずれもA4判縦置き横書き。)

履歴書(写真貼付。所属学会を記す。)

研究業績調査書(各業績について査読の有無を記す。)

主要論文5編の別刷またはコピー

研究教育の抱負(1500字程度。)

人物等についての照会先(2名の氏名・連絡先。)

6). 書類送付先および応募期限:

〒360-0194 熊谷市万吉 1700

立正大学地球環境科学部長 米林 伸

(封筒表面に環境地学教員応募と朱記し、簡易書留とすること。)

2008年8月22日必着

7). 問い合わせ先:

〒360-0194 熊谷市万吉 1700

立正大学地球環境科学部 田村俊和

e-mail [tamura@ris.ac.jp](mailto:tamura@ris.ac.jp)

注 学部・学科の概要は <http://ris-geo.jp/intro.html>,

<http://www.es.ris.ac.jp/~es/>

等を参照。

複数の候補者に対して9月上旬に面接を行い、その際健康診断書の提出を求める。なお、旅費は支給できない。採用後は熊谷校地の近くに居住すること(片道1時間程度以内が望ましい)。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月7日送信しました)

## ○テニュアトラック研究員公募

### 【愛媛大学】

愛媛大学ではテニュアトラック研究員(上級研究員)6名を公募中です。このうち2名が地球深部ダイナミクス研究センター(GRC)と強い連携のもとに研究教育をすすめていただく予定で、任期終了後は審査の上准教授等として任用予定です。

またGRCを中心として本年度採択されたグローバル

COE プログラム（「先進の実験と理論による地球深部物質学拠点」）では、愛媛大学において地球深部科学関連分野の先端的研究に従事するグローバル COE 研究員、グローバル COE 准教授を計 10 名程度公募しています。詳細は GRC の HP

<http://www.chime-u.ac.jp/~grc/index.html>

をご覧ください。併せて GRC では愛媛大学理工学研究科博士後期課程（数理物質科学専攻・地球進化学講座）大学院生を、特別待遇で（入学金・授業料の免除、RA 経費による支援、研究費の支援、国内外研究機関への長・短期派遣、等）募集しています（本年度 10 月入学、来年度 4 月入学：ともに願書締めきり 8 月 4 日

（[http://www.chime-u.ac.jp/jyuku/n\\_graduate/gr\\_d\\_gaiyou.html](http://www.chime-u.ac.jp/jyuku/n_graduate/gr_d_gaiyou.html)）。

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 7 月 7 日送信しました）

### ○島原市職員の公募について

長崎県島原市は地質学・火山学を専門とする平成 21 年度採用予定の市役所職員の募集を以下のように行います。受験資格は大学卒業程度の学力を有し、採用時に満 40 歳未満の人となっています。

島原半島の 3 市（島原市・南島原市・雲仙市）はユネスコが支援する「世界ジオパーク」加盟に向けて準備を着々と進めています。今回の募集は、この【島原半島ジオパーク】を専門に担当する職員を公募するものです。島原半島の地質や雲仙火山についての知識が深く、アウトリーチ活動に積極的な人の応募を特に歓迎します。

【島原半島ジオパーク】については以下の URL を参照してください。

<http://www.city.shimabara.lg.jp/section/shokan/geopark/>

島原市職員公募（平成 21 年度採用予定）

職種および採用人数：地質火山調査業務 若干名

受験資格：大学卒業程度の学力を有し、昭和 44 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、大学等で主に地質又は火山に関する課程を専攻した人

採用後は市内に居住できる人

受付期間：平成 20 年 7 月 22 日（火）から平成 20 年 8 月 22 日（金）まで

試験日

第一次

・体力試験 平成 20 年 9 月 20 日（土）

・学力試験 平成 20 年 9 月 21 日（日）

第二次

一次試験合格通知の際にお知らせします。

そのほか詳しい募集要項は以下の URL を参照してください

<http://www.city.shimabara.lg.jp/section/shiko/bosyu2008/index.html>

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 7 月 7 日送信しました）

### ○教員公募

#### 【静岡大学防災総合センター】

1. 募集人員 准教授 又は 助教 2 名
2. 所 属 静岡大学防災総合センター
3. 勤 務 地 静岡市駿河区大谷 836  
（静岡大学静岡キャンパス）
4. 募集分野 自然科学系 1 名、人文社会科学系 1 名  
いずれも静岡地域における防災に関する教育、研究及び地域連携に意欲と関心を持って取り組める方
5. 採用時期 平成 20 年 10 月 1 日（水）（予定）
6. 任 期 平成 24 年 3 月 31 日まで  
（任期中の教育研究業績等の評価により、更新の可能性が有ります。）
7. 応募資格
  - (1) 博士の学位を有する方、又はそれと同等以上の能力を有する方
  - (2) 静岡市又は静岡市近隣地域に居住できる方
8. 応募書類（各 1 部）
  - (1) 履歴書（研究歴、社会活動歴も併せて記入）
  - (2) 業績リスト（論文は査読の有無を明記）
  - (3) 主な著書、論文の別刷り（コピーも可）5 編以内
  - (4) 応募者の研究・教育経歴等について問い合わせることのできる方、2 名の氏名と連絡先（住所、電話、メールアドレス等）
  - (5) 抱負 今までの研究業績や実践をもとに、静岡大学防災総合センターの業務に対して、どのように貢献できるかについて、2,000 字程度で作成してください。
9. 応募期限 平成 20 年 7 月 31 日（木）（必着）

#### 10. 応募書類送付先及び問合せ先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836

静岡大学学務部教務チーム 気付

静岡大学防災総合センター

電話 054-238-4253

E-mail: [matsu-e@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:matsu-e@adb.shizuoka.ac.jp) [担当松梨]

応募書類は、封筒の表面に「防災総合センター教員応募書類（応募分野、ただし自然科学系、人文社会科学系の両方に跨る方は両分野と記入）」と朱書きの

上、簡易書留又は直接ご持参ください。ご応募いただいた書類は返送いたしません。なお、選考の過程で面接をすることがあります。(旅費は自己負担となります。)

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月11日送信しました)

### ○教員公募

#### 【京都大学防災研究所地震予知研究センター】

1. 公募人員: 准教授 1 名
2. 所 属: 地震・火山研究グループ  
地震予知研究センター地殻活動研究領域
3. 研究内容等:  
発生が切迫している南海地震およびこれに伴う内陸地震の活発化を念頭に、新しい発想に基づく観測・解析手法を導入しつつ地震・地殻活動のモニタリングとモデリング研究を総合化する先端的研究等、新たな研究展開を図る人材を求める。また、京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻の教育を担当する予定である。
4. 任用時期: 可能な限り早い時期
5. 応募資格: 博士の学位を有するもの  
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えることが望まれる。
6. 提出書類: 次の (1)~(6) 各 1 式
  - (1) 履歴書
  - (2) 研究業績一覧 (Peer Review およびその他に区分けた論文、著書等)
  - (3) 主要論文別刷 (コピー可) 5 編
  - (4) 研究業績の概要 (A4 用紙 2 枚以内)
  - (5) 今後の研究計画及び抱負 (A4 用紙 2 枚以内)
  - (6) 推薦書または応募者について意見を伺える方 2 名の氏名と連絡先
7. 公募締切: 平成 20 年 10 月 15 日 (水) 必着
8. 書類提出先: 〒611-0011 宇治市五ヶ庄  
京都大学防災研究所 担当事務室  
地震予知研究センター  
地殻活動研究領域准教授選考委員会 宛  
(封筒の表には「教員応募書類在中」と朱書。郵便の場合は書留に)
9. 問い合わせ先: 〒611-0011 宇治市五ヶ庄  
京都大学防災研究所 担当事務室気付  
地震予知研究センター  
地殻活動研究領域准教授選考委員会  
e-mail: ryohhei@uji.kyoto-u.ac.jp  
(封書または e メールに限る)

### 10. その他:

応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。

なお、京都大学防災研究所の詳細は下記のホームページをご参照下さい。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

[http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/web\\_j/contents/kobo.html](http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/web_j/contents/kobo.html)

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月22日送信しました)

### ○教員公募

#### 【富山大学大学院理工学研究部】

1. 採用の職名および人員: 准教授あるいは講師 1 人
2. 採用の条件等  
予定時期: 平成 20 年 10 月以降のできるだけ早い時期  
所 属: 大学院理工学研究部 環境・エネルギー学  
域 地球環境システム学系  
教育における職務内容: 本学の教養科目、理学部地球科学科の専門科目ならびに大学院理工学教育部関係の授業科目の担当、および学生の研究指導
3. 専門分野: 地球物理学  
本公募では、地球変動現象に強い関心をもち、地球物理学的方法で、地球の表層や内部の構造とそのダイナミクスに関する研究を推進する意欲的な人材を求めます。とくに、国内外の研究プロジェクトに積極的に関与し、学部教育と大学院教育にも主体的に携わる方を希望します。
4. 提出書類
  - (1) 履歴書 (任意の様式。写真貼付。教育業績、学会賞等の受賞歴を含む)
  - (2) 研究業績目録 (査読つき原著論文、総説、著書、その他に分類。分類別に番号)
  - (3) 主要論文 5 篇の別刷 (またはコピー) 各 1 部
  - (4) これまでに行ってきた研究の概要、今後の研究計画、および今後の教育への抱負  
・ 科研費等外部資金の獲得状況、海外での学術調査歴、地域・社会貢献などを含む。  
・ 各項目について、A4 版 2 枚以内。
  - (5) 応募者について参考意見を述べることのできる人 2 名の氏名および連絡先
5. 提出期限: 平成 20 年 9 月 12 日 (金) 必着
6. 提出書類送付先および問合せ先:  
〒930-8555 富山市五福 3190  
富山大学大学院理工学研究部 (理学)  
理学部地球科学科長 竹内 章宛

電話：076-445-6654 ファクス：076-445-6549

E-mail: takeuchi@sci.u-toyama.ac.jp

提出書類は、封筒に地球物理学分野准教授応募書類在中と朱書し、簡易書留等の配達記録が残る方法で送付のこと。応募書類は、選考目的以外には使用しません。選考後は、速やかに返却いたします。

7. その他

(1) 本学理学部地球科学科の教育を担当する教員構成については、学科のホームページを参照してください。

<http://www.sci.u-toyama.ac.jp/earth/index-j.html>

(2) 本公募では、選考過程において面接を実施することがあります。

その場合の旅費は、全額自己負担をお願いします。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月22日送信しました)

○教員公募

【東北大学東北アジア研究センター】

1. 公募分野：東北アジア研究センター 基礎研究部門  
地球化学研究分野
2. 職名・人員：助教1名（任期3年，再任可，再任は任期2年，2回を限度とする）

東北大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。子育て支援の詳細等，男女共同参画の取組みについては下記 URL をご覧下さい。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/>

3. 専門分野：岩石学，地質学，火山学，地球化学，鉱物学，鉱床学など。

日本を含む東北アジア地域を研究対象とする野外研究の実績及び今後の計画があること。当該分野のスタッフ（下記参照）との共同研究が可能な者。

4. 応募資格：博士の学位を有する，または採用予定日までに取得見込みであること。

専門分野において筆頭著者として学術誌に公表した論文を有すること。野外研究の経験を有し，日本を除く東北アジアを対象とする研究に対して熱意を有する者。また，文系など異分野との研究連携についても前向きである者。年齢，性別，国籍を問わない。英語による十分な研究能力と，日本語による事務処理能力を有すること。

5. 担当授業科目：

(学部) 地球惑星物質科学関連科目及び地質調査の指導  
(大学院) 上記の専門科目に関連する大学院理学研究科の授業科目

6. 採用予定日：平成20年12月1日

7. 応募締切日：平成20年9月30日（火）必着

8. 提出書類：

- (1) 履歴書（写真添付のこと）
- (2) 研究業績一覧（論文（査読有り・査読無し）・著書・その他）
- (3) 主要な業績5点以内（別刷またはコピー各1部）
- (4) 従来の自身の研究のレビュー。上記業績の紹介を含めること。日本語でA4紙2枚以内。
- (5) 着任後の研究・教育に対する抱負。日本語でA4紙1枚以内。
- (6) その他の特記すべき成果，経験など。主な野外調査経験，国外・国内の共同研究への参加状況，国際・国内学会での主な講演，受賞，現在までに取得した科学研究費補助金など，教育・社会活動の経験など。A4紙2枚以内。

9. 書類提出先：〒980-8576 仙台市青葉区川内 41

東北大学東北アジア研究センター長宛て。

封筒の表に「教員公募関係書類（地球化学研究分野）」と朱書し，「書留」で郵送すること。選考後は書類を返却する。

10. 選考方法：書類選考の後，面接をお願いすることがある。

11. 問合せ：

TEL 022-795-6009（東北アジア研究センター事務室）

E-mail: [asiajimu@cneas.tohoku.ac.jp](mailto:asiajimu@cneas.tohoku.ac.jp)

（できるだけE-mailでの問合せをお願いします。）

12. 当該分野のスタッフ

石渡 明（教授，岩石学・地質学）

後藤章夫（助教，火山物理学・マグマ物性）

宮本 毅（助教，火山岩岩石学・火山地質学）

（上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月1日送信しました）

○第29回女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」の推薦の募集

【女性科学者に明るい未来をの会】

- 1). 対象：推薦締切日に50才未満で，自然科学の分野で，顕著な研究業績を収めている女性科学者
- 2). 表彰内容：賞状，副賞として賞金30万円，1件（1名）
- 3). 応募方法：所定の用紙（当会のホームページからダウンロード）に，推薦者（個人・団体，自薦も可）・受賞候補者の略歴，推薦対象となる研究題目・推薦理由（800字程度），及び主な業績リスト（指定は1頁です。やむを得ない場合でも追加は1頁までです）を記入して，主な論文別刷10編程度（2部ずつ，

コピーも可)を添え、5)の推薦書類送付先までお送り下さい。

4). 締切日: 2008年11月30日

5). 推薦書類送付先:

〒247-0022 横浜市栄区庄戸 5-14-3

女性科学者に明るい未来をの会

(封筒には、「猿橋賞推薦書類」と明記して下さい。

書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承下さい)

なお、この件についての問い合わせは、下記に電子メールでお願いいたします。

saruhashi2008@saruhashi.net

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月7日送信しました)

#### ○平成21年度研究船利用公募課題の募集について

##### 【独立行政法人海洋研究開発機構】

独立行政法人海洋研究開発機構では、平成20年2月に制定した「海と地球の研究5ヶ年指針」に基づく研究の推進を行うため、所有する研究船「みらい」、「なつしま」、「よこすか」、「かいいい」等を利用する課題を募集いたします。募集期間は平成20年6月26日～7月22日までの

約1ヶ月間です。

詳しくはウェブサイト ([http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/maritec/2009\\_koubo/](http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/maritec/2009_koubo/)) をご覧ください。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに7月7日送信しました)

#### ○展示会のお知らせ

##### 【神奈川県立生命の星・地球博物館】

7/19～11/9 特別展「箱根火山 いま証される噴火の歴史」

([http://nh.kanagawa-museum.jp/event/tokubetu/2008\\_hakone/index.html](http://nh.kanagawa-museum.jp/event/tokubetu/2008_hakone/index.html))

箱根火山の形成モデルは、1950年代に故久野久先生により確立されて以来、半世紀にわたり使われ続き、カルデラ形成史の教科書的存在にもなってきました。しかし、近年、詳細なフィールドワークと最新の分析機器の導入により、新しい山体形成モデルが提案され、さらに新たな火山活動などもわかってきました。本特別展示では、箱根地域における基盤の形成から火山体の形成までを、新旧モデルをふまえて紹介しています。なお、本展示は火山学会が共催しています。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月8日送信しました)